

## 釧路森林資源活用円卓会議（第1回全体会）について

1. 開催日時 2020年(令和2年)6月24日(水)  
13:30~15:10
2. 開催場所 釧路工業技術センター2階会議室
3. 参加人数 委員15名 オブザーバ3名  
事務局9名



### 4. 会議の概要

- ・川上部会長が交代し、山崎部会長が就任した旨報告がなされた。
- ・事務局である釧路市より、2019年度(令和元年度)の取組内容と2020年(令和2年度)に取組予定の事業について報告を行った。

#### 【主な2019年度(令和元年度)の実績報告(事務局)】

- ・くしろ木づなフェスティバルの開催について(資料1)
- ・WOODコレクション(モクコレ)令和元年について(資料2)
- ・製品開発や新たな木材利用の推進(資料3)



#### 【課題解決に向けたロードマップ】

2018年度(平成30年度)からの第3期の取組を踏まえながら、2020年度(令和2年度)の取組を進めることとした。

全体の課題として「森林環境譲与税」、川上部門として「担い手の確保・育成」「森林資源の齢級構成の平準化」「路網整備モデルの検討」「コンテナ苗の導入」、川下部門として「建築関連での木材利用」「製品開発の推進」、普及啓発として「消費者理解の醸成」「域外利用の推進 PR」の課題解決に向けて取組を進めていく。

#### 【主な2020年度(令和2年度)の事業計画(事務局)】

- ・北の森づくり専門学院における地域実習への協力(資料4)
- ・JAS構造材個別実証事業の活用(資料5)
- ・商品開発研究会(仮称)の設置(資料6)
- ・2020年度事業イベント等実施スケジュール(資料7)
- ・森林認証取得に向けた検討(資料8)
- ・森林環境譲与税について(資料9)



#### 【2020年度(令和2年度)事業計画等についての意見】

・担い手の確保や森林施業の効率化・低コスト化に向け、北の森づくり専門学院の地域実習への協力や森林環境譲与税の活用策の検討を行うほか、GPSを活用した実践研修を行うなどによりスマート林業にも対応していきたい。

・木材の民間需要の創出に向け、JAS構造材個別実証事業などの補助事業の活用をPRするほか、セミナーの開催により業界のスキルアップに取り組む。また商品開発研究会(仮称)を設置し、新たな視点からの製品開発を進めていきたい。

・森林認証の取得に向けた検討を行うことで、釧路地域における木材利用の取組や技術が生かされ、かつスケールメリットによる販路開拓を行いやすい環境づくりを進めていきたい。